

## 高学年 テーマ② 災害の起こり方と対策を知る

学習のねらい	<u>土砂災害の種類と対策について知る</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 土砂災害の種類と特徴について知る</li> <li>■ 土砂災害の対策と前兆現象について知る</li> <li>■ 災害が発生する前にできることを考える</li> </ul>	
必要物品・資料	□ 授業用スライド資料(高学年②   土砂災害編) □ ワークシート(高学年②   土砂災害編)	□ プロジェクター・スクリーン □ レーザーポインター (もしくは差し棒)

学習活動	ppt	発問例と予想される児童の反応例 発問・指示(●) 予想される反応(○)	指導上の留意点 支援(◆) 評価(☆)
学習の題目 (1分)	1		
導 入 (計5分)			
1. 大雨時に起こることを思い起こし、学習のねらいを確認する。			◆ グループ・ディスカッションができるように机・椅子を動かしておく。
1-① 大雨が降ると、どんな災害が起きるのかを考える。	2~3	● 大雨が降ると、どんな災害が起きますか？ ・ 洪水災害 ・ 土砂災害	◆ 児童(数名程度)を指して、答えさせる。
1-② 土砂災害について確認する。	4	● 今日は土砂災害について詳しく勉強しましょう。土砂災害とはどのような災害でしょうか？ ・ 山の土砂が崩れる ・ がけが崩れる	◆ 土砂災害の基礎知識について確認する。 <b>知識</b> ◆ 児童(数名程度)を指して、答えさせる。
	5	● 土砂災害は大雨や地震などで山やがけが崩れたり、土や石が雨や川の水と一緒に家や道路を壊すなどする災害のことです。土砂の移動の仕方呼び方が違います。	
	6	● 【写真提示:地域で発生した土砂災害の紹介】	◆ 災害写真を提示する。 資料集参照:地域の写真への差替えや枚数を増やすなど適宜スライドを編集してください。
1-③ 本時の学習のねらいを確認する。	7	● 今日は、「土砂災害の種類と対策」について学習していきましょう。	
展 開 (計29分)			
2. 土砂災害の種類と特徴について知る。	8	● まずは、土砂災害の種類について勉強していきたいと思います。	
2-① 土砂災害に種類があることを知る。	9~10	● 土砂災害の写真です。どうなっているか考えてみましょう。 ・ (がけ崩れ)木が倒れ、がけが崩れている ・ (土石流)山から土が流れ落ちている ・ (地すべり)広い範囲で土が滑り落ちている	◆ 児童(数名程度)を指して、答えさせる。 ◆ 土砂災害の写真やイラストを提示して、種類が異なることを理解しやすくする。
	11	● 写真のように土砂災害といっても、いろいろな種類があって、呼び方が違います。	◆ 土砂災害には3種類あることを伝え、詳しく勉強しようと授業への動機づけを行う。
	12	● 土砂災害は、「がけ崩れ」と「土石流」、「地すべり」の3種類にわけられます。	
2-② がけ崩れと土石流、地すべりの違いを考える。	13~14	● 「がけ崩れ」と「土石流」、「地すべり」の3種類にわけられると言ったけれど、何がどう違うかイラストを見て、考えてみましょう。 ・ (がけ崩れ)がけが崩れている ・ (土石流)山から土が流れ落ちている ・ (地すべり)まとまって滑り落ちている	◆ 3種類の特徴を理解することでそれぞれどのように危険か知る。 ◆ 地域の災害写真を提示する。 ◆ 写真ほか、スライド埋め込み動画を再生して、理解を深める。
	15~26	● 【写真提示:「がけ崩れ」と「土石流」、「地すべり」のそれぞれの特徴を教える】	資料集参照:地域の写真へ差替えてください。 ☆ がけ崩れ・土石流・地すべりの特徴を理解する。 <b>知識</b>

学習活動	ppt	発問例と予想される児童の反応例 発問・指示(●) 予想される反応(○)	指導上の留意点 支援(◆) 評価(☆)
2-③ 土砂災害からの避難について知る。(○×クイズ)	27 28 29~ 30 31~ 32 33 34 35	● 土砂災害についての○×クイズをしましょう。正解だと思うほうに手を挙げてください。 ● 問1:「がけ崩れ」の前にがけのまわりで水がわき出ることがある? → ○: がけ崩れなど土砂災害が発生する前には、様々な前兆現象が確認できるときもある。 ● 前兆現象を発見したらどうしたらよいですか? 土砂災害の予測は難しいですが、いつもの違いに気づいたら早めの避難で命を守ることができます。 ● 大事なこととして、前兆現象に気づいたら先生や両親など大人に伝えたり、早めに安全な場所に避難しましょう。 ● 問2:「砂防」とは砂の壁のことである? → ×: 土砂災害から命や建物などを守る工事や取り組みのこと	☆ 土砂災害の避難について知る。 ◆ 前兆現象について説明する。 ☆ 前兆現象があることを知る。 ◆ 前兆現象を発見したらどうしたらよいか考えさせる。 ◆ 児童(数名程度)を指して、答えてもらう。 ◆ 土砂災害を防ぐ取り組みのことである「砂防」という言葉について興味を持たせる。
3. 土砂災害の対策について知る。	36	● ○×クイズに、「砂防」の話がでてきたけれど、もっと詳しく土砂災害の対策について勉強していきたいと思います。	
3-① 土砂災害の対策について考える。	37~ 40	● 【写真提示:「がけ崩れ」と「土石流」、「地すべり」のそれぞれの対策を教える】	◆ 土砂災害の対策についてのイラストや写真を見せて紹介する。 ◆ 土砂災害の予防に関する取り組みについても紹介する。 ☆ 土砂災害の対策について理解する。 知識
3-② 早めの避難が重要であることを知る。	41 42	● 様々な土砂災害の対策をしても、対策を超える災害が起きることもあります。 ● 大事なことは、危なくなる前(土砂災害が起きる前)に避難をすることです。	☆ 早めの避難が重要であることを理解する。 判断力
4. 土砂災害に備える方法を考える。		<b>【ワークシート(高学年②   土砂災害編)】を配付</b>	
4-① ワークシート「問1」について考え記入する。	43	● 「早めに避難する」ために日頃からどんなことを備えておけばよいでしょうか。理由も書いてみましょう。	◆ 個人意見をワークシートに記入するように促す。 ☆ 災害から身を守るために日頃から備えておいた方がよいことを考えられる。 思考力
4-② 自分の考えを発表・交流する。  <b>Point: アクティブラーニング</b> <b>グループ活動(教え合い)</b> 教え合いをとおして、児童の理解を深める。	44~ 46 47 48	● 近くの人と見せ合ってみましょう。他の人の考えと違うところがありますか? ・ ハザードマップで危険な場所を確認する ・ 前兆現象について知っておく ● いろいろ考えてもらいましたが、今日からできそうなことにさっそく、取り組んでみましょう。 ● 災害で命を落とさないためには、早めに行動すること、備えておくことが大切です。	◆ 友達とワークシートを見せ合って、教えあうように促す。 ◆ 児童(数名程度)を指して、答えてもらう。 ◆ ハザードマップはあくまで目安であることを伝える。 ◆ 時間があれば、手作り雨量計の説明を入れたり、ハザードマップをタブレットなどで調べてみるのもよい。
ま と め (計10分)			
5. ふりかえりをする。	49	● 今日の学習で学んだことをふりかえります。	
5-① ワークシート「問2」へ学習の感想を記入する。  <b>Point: アクティブラーニング レポート活動</b> 自分の思ったこと、考えたことをまとめることで、理解を深める。	50	● 今日の学習の感想を書きましょう。	◆ 個人意見をワークシートに記入するように促す。 ☆ 思ったことや感じたことを表現できる。 表現力
5-② 本時のふりかえりをする。	51 52 53 54~ 55	● 土砂災害には2種類あり、避難の仕方も違います。 ● いろいろな災害対策が行われていますが対策を超える災害が起きることもあります。 ● 災害で命を落とさないためには、「早めの避難」が大事で、そのためには日頃から災害に備えておくことが大切です。災害が起こる前からできることはたくさんあります。	☆ 早めに行動する、備えることの重要性を理解できた。 知識 ◆ 災害時の行動や備えを事前で家族と話し合っておくことを促す。 ☆ 事前の備えへの関心の高まりがみられる。 学びに向かう力
授業終了			